

…“修錬と絆” ◆ “絆と連帯”…



平成29年度 第2回 抜刀道東京大会
2017年(平成29年)7月23日 於：東京武道館

◆集合写真提供◆
専属カメラマン 保泉正夫

梅雨が明けた東京…。猛暑が続く中、七月二十三日(日曜)全国大会の準備としての『第二回抜刀道東京大会』が、東京武道館に於いて小規模ながら盛会に開催された。

開会式では、冒頭に『選手各位の、この一年の修錬成果の発揮と奮闘を期待し、本連盟『第二回抜刀道東京大会の開会宣言する』と、中島正夫大会実行委員長から高らかに力強い開会の宣言がなされた。

続いて国旗に拝礼。
国家斉唱の後：

大江正男 大会会長より『この東京武道館での大会の開催は2回目であるが日頃錬磨した成果を十分に発揮して、さらに全国大会に向かって頑張る』と、会場での設営・撤去の委員の方々の暑い中をご苦労様。互いに協力しあい無事故でこの大会を成功させよう！との挨拶があった。

続いて、大塚光男審判長から競技審判上の注意があり宣言は、川崎支部・田村悟選手が高らかに行った。次に、大塚光男教務部長の「露祓い」が、厳粛に行われ引き続き「実技模範演武」を教務部、境泰雅(錬士七段)が披露し競技へと進んだ。

今回の東京大会の大きな「特長」は、猛暑の中、早朝から準備総責任者 藤田久男(教士七段)の指揮のもと、準備委員各位が、汗をびっしょりかきながら、巻藁の運び込みと後始末。会場の設営撤去を手際よく行い、見事なチームワーク(修錬と連帯)を発揮した。お陰様で競技は、無事故で予定より早く閉会式を迎えた。なお、開会式等々大会進行の司会は、大会開催の裏で孤軍奮闘し、成功へと導いた 菅野茂 事務局局長が務めた。

◆開会激励挨拶をする◆ 大江 正男 大会会長

◆競技出場選手◆

■ 初段以下 出場選手(10名)

飯田 敏晃(川崎支部)。岩本 康弘(東京道場)。小倉 雅志(土成会)。植村 宏司(川崎支部)。庄司 一憲(土成会)。伊原 昌宏(東京道場)。武井 香名(川崎支部)。柳 武見(鎌倉支部)。ヨランダ・ゴレッツ(剣誠会)。柴崎 透(狭文支部)。

■ 2段・3段 出場選手(13名)

新関 勇樹(山形支部)。田村 悟(川崎支部)。黒田 了光(山形支部)。富川 仁(川崎支部)。巧刀 一好(川崎支部)。石橋 凝(川崎支部)。大塚 晋二(東京英信会)。酒井 康光(土成会)。甲野ルリ子(土成会)。山口 猛(大阪支部)。植山 孝明(埼玉武蔵会)。岩本 典之(埼玉武蔵会)。杉田 秀幸(武蔵会)。

■ 4段・5段 出場選手(23名)

鈴木 孝典(尚武館)。城谷 光俊(武蔵会)。伊東 勉(尚武館)。柴田 輝久(東京道場)。浦井 一彦(笠間洗心館)。小林 克己(尚武館)。板橋 宣孝(川崎支部)。長谷川 徹(八千代)。藤原 弘通(八千代支部)。ベンジャミン・ジョーダン(和道会)。藤田 僚(東京英信会)。関口 英治(狭文支部)。岩澤 和也進(八千代)。関原 勝(埼玉支部)。山口 博(英信館)。軽部 慎也(山形支部)。猪俣 武士(埼玉武蔵会)。長野 宏治(土成会)。太田 敏夫(英信会)。平川 政博(埼玉武蔵会)。治部 昭(埼玉武蔵会)。塩原 斉(川崎支部)。山下秀造(土成会)。

■ 6段・7段 出場選手(7名)

境 泰雅(高知支部)。今村 文彦(高知支部)。岡本 光正(東京英信会)。佐藤 淳一(山形支部)。藤田 久男(剣誠会)。堀内 城夫(土成会)。

◆団体戦◆

山形支部
八千代
土成会
東京英信

(先鋒) 軽部 慎也
(中堅) 黒田 了光
(大将) 新関 勇樹
藤原 弘光
長谷川 徹
山下 秀造
太田 敏夫

◆団体戦◆

川崎支部
埼玉武蔵
尚武館
東京道場

(先鋒) 板橋 宣孝
(中堅) 富川 仁
(大将) 田村 悟
猪俣 武士
小林 克己
柴田 輝久
鈴木 孝典
岩本 康弘

◆本部役員◆

大江 正男 連盟会長。中世古 勝司 相談役。中島 正夫 副会長。
菅野 茂 事務局長。大塚 光男 教務部長。遠藤 仁 教務次長。
藤田 久男 教務次長。岡本 光正 会計。保泉 正夫(連盟専属カメラマン)。

…◆開会式・競技◆…



▽ 大会審判団の先生方 ↑

⇒ 選手
の安全
▼ 競技・演武中の
安全を守る
《刀剣検査》



◆露 祓◆
大塚光男 教務部長
(範士八段)



…◆出場選手の雄姿◆…



⇒ 六段・七段 制定実技の部
決勝戦《優勝》
藤田久男(教主七段) 左



個人戦《形・実技》の部【初段～5段】



制定刀法・形・個人戦			
	初段以下	二・三段	四・五段
優勝	庄司 一憲 土成会 支部	酒井 康充 土成会 支部	小林 克己 尚武館 支部
準優勝	小倉 雅志 土成会 支部	田村 悟 川崎 支部	長野 宏治 土成会 支部
三位	JOLANTA GOLEC 剣誠会 支部	黒田 了光 山形 支部	軽部 慎也 山形 支部
	柳 武見 鎌倉 支部	富川 仁 川崎 支部	関原 勝 埼玉 支部

個人戦《形・実技》の部【6段～7段】

制定刀法・実技・個人戦			
	初段以下	二・三段	四・五段
優勝	庄司 一憲 土成会 支部	富川 仁 川崎 支部	塩原 斉 川崎 支部
準優勝	小倉 雅志 土成会 支部	黒田 了光 山形 支部	藤田 僚 東京英信会 支部
三位	JOLANTA GOLEC 剣誠会 支部	田村 悟 川崎 支部	長野 宏治 土成会 支部
	武井 香名 川崎 支部	大塚 晋二 東京英信会 支部	浦井 一彦 笠間洗心館 支部

制定刀法・形・個人戦	
六・七段	
優勝	藤田 久男 剣誠会 支部
準優勝	境 泰雅 高知 支部
三位	今村 文彦 高知 支部
優秀賞	岡本 光正 東京英信会 支部
	堀内 城夫 土成会 支部
	佐藤 淳一 山形 支部
大会会長賞	
七段	藤田 久男 剣誠会 支部

制定刀法・実技・個人戦	
六・七段	
優勝	藤田 久男 剣誠会 支部
準優勝	境 泰雅 高知 支部
三位	堀内 城夫 土成会 支部
優秀賞	岡本 光正 東京英信会 支部
	今村 文彦 高知 支部
	佐藤 淳一 山形 支部

…◆成績発表“表彰と閉会式”◆…



制定 6段～7段《形・実技》
…会長賞を含め3冠王に輝く藤田久男(対7段)右

◆大会の陰を支える安全管理者の雄姿◆

抜刀道存続の生命線は「絶対安全の確保維持」にあるとの理念に基づき「連盟安全管理体制」を組織的に構築してから1年が無事故で経過した。今回の大会でも、競技に参加しながらも巡回し活躍した安全管理者に、ご苦勞様と感謝したい…。



- ▼中島 正夫(大会実行委員長)
- ▼田村 悟(川崎 支部)
- ▼藤田 僚(東京英信会)
- ▼浦井 一彦(笠間洗心館)
- ▼藤部 慎也(山形 支部)
- ▼藤原 弘通(八千代支部)
- ▼平川 政博(埼玉武蔵会)
- ▼猪膝 武士(埼玉武蔵会)
- ▼藤田 久男(準備総責任者)
- ▼庄司 一憲(土成会支部)
- ▼柴田 輝久(東京道場)

《団体戦の部》

制定刀法・団体戦				
	チーム名	先鋒	中堅	大将
優勝	埼玉武蔵会 支部	杉田 秀幸	岩本 典之	猪膝 武士
準優勝	山形 支部	軽部 慎也	黒田 了光	新関 勇樹
三位	東京道場	伊原 昌宏	岩本 康弘	柴田 輝久
	東京英信会 支部	藤田 僚	大塚 晋二	太田 敏夫



◆大会終了後の“懇親暑気”払い◆
“和気あいあい”…今日一杯明日への活力

◆連盟本部主催 昇段審査会◆

平成29年8月5日(土曜)

うだる猛暑の中。神奈川県立武道館に於いて午前「初段～5段」・午後「6段～8段」の高段者審査と称号審査が実施された…。



…◆高段者審査会◆…

◆審査委員◆

(右から)

- 大塚 光男 (範士八段)
- 中世古勝司 (範士九段)
- ※ 審査長 大江 正男 (範士九段)
- 菅野 茂 (教士八段)
- 遠藤 仁 (範士八段)
- 中島 正夫 (範士九段)

■高段者の部 審査結果

- 六段受審者六名(合格二名) 合格▶古田 忍(讃岐支部) 関原 勝(埼玉支部)
- 七段受審者一名・八段一名 (合格者なし)
- 称号審査 教士合格者 佐藤 淳一(山形支部) 藤本 佳嗣(讃岐支部)

■初段～五段の部 審査

- 初段一名 (不合格)
- 二段四名 (全員合格)
- ヨランダ・ゴレッツ(剣誠会) 庄司 一憲(土成会支部)
- 飯田 敏晃(川崎支部)
- 水村 光治(埼玉支部)
- 三段一名 (不合格)
- 四段三名 (二名合格)
- 田中賢治(八千代支部)
- 富川 仁(川崎支部)
- 五段二名 (一名合格)
- 藤原弘通(八千代支部)



◆審査委員◆

- ▶ 佐藤 敏子 (錬士六段)
- ▶ 審査長 藤田 久男 (教士七段)
- ▶ 岡本 正光 (教士七段)

▶初段～五段の審査開会に際し菅野事務局長から修練の成果を發揮し、全員合格の心意気で審査に挑戦してほしい。審査会は、年四回実施しており多くの会員が参加してほしいとの挨拶があった…。

…編集 後記…

“菊づくり 菊みるときは 陰の人”



▼ 大会・審査と言う“菊の大輪”を咲かせ成功に導く為には、その陰(裏方)には猛暑の中で出場選手を暖かく迎え黙々と活躍する我々の“仲間の姿”がある…。

▼ 今号は《自傷・他傷》の危険性を排除し、不慮の事故を未然に防ぐ「巡回安全管理者」の活躍に次いで…、大会・審査の成功を支える為に、奮闘する『準備委員』の姿に…スポットをあてて紹介する…。

▼ 大会・審査・行事を企画し組織的に実行に移す為に活躍する菅野 茂 事務局長。また、藤田 久男 準備総責任者の指揮で、猛暑の中、早朝から大会会場の設営・撤去。試斬用巻藁の製作・搬入後始末と処分に孤軍奮闘する《準備委員》の貴い姿がある…。

▼ 試斬用「巻藁の製作準備」では、第2回の東京大会…剣誠会支部(50本)・東京道場(50本)・川崎支部(50本)合計150本が用意された。

▼ 初段～5段・高段者審査では、剣誠会支部(72本)と東京道場(50本)の…合計122本の協力を戴いた…。

▼ この巻藁は、品質の統一を図るため《3日間・72時間》の漬け込みとし、統一した品質の管理をしている…。

▼ 大会・審査・講習会等々での会場設営から、選手が帰宅した後、会場撤去・巻藁処分等で活躍する《準備委員》の我々の仲間感謝の気持ちで“ご苦労様”と声をかけてやってほしい…。



副会長 中島正夫 広報部長



大会を陰で支える“準備委員の雄姿と横顔” …お暑い中をご苦労様です!…



- ヨランダ・ゴレッツ (剣誠会)
- 田村 悟 (川崎支部)
- 柴田 輝久 (東京道場)
- 藤田 久男 (準備責任者)
- 平川 政博 (埼玉武蔵会)
- 浦井 一彦 (笠間洗心館)
- 庄司 一憲 (土成会支部)
- 猪俣 武士 (埼玉武蔵会)

◆広報 便り

【誰もが気づかない発想】 ただ単に活字を“見るのではなく”… 50cmほど寝て会報の1枚を眺めてほしい…。 写真を挟んで活字を縦横に巧みに組み合わせ、絵画を眺める様な『絵心の発想』で一枚の作品として“構成・編集”がなされています。 抜刀道を通じたご自分の人生記録をセロケースに入れて机の片隅に飾るもよし。 名刺がわりに“COPY”して記念に配布するもよし。この様な“男のロマン”を勝手に抱き“連盟発展”の為、日々真夜中まで会報作りは続きます…。